



来場者に作品を説明する岩本さん(右)

チャーフィンで地元の良さを伝える
■岩本陽子イラストレーション展「HOME」

「静岡牧之原茶」のキャラクター「チャーフィン」の生みの親でイラスト作家の岩本陽子さん(菅山)の個展「HOME」が3月2日から17日まで、い〜で開かれました。
 岩本さんは、平成19年に市茶業振興協議会の依頼でチャーフィンを制作し、市広報紙などに掲載。作品は、チャーフィンの原画や市の風景など、これまで描きためたイラスト20点。地元で初めて個展を開いた感想を、「絵を通じて地元の良さを多くの人に知ってもらいたい」と話してくれました。

学び舎から看護の道へ

■静岡県中部看護専門学校卒業式

静岡県中部看護専門学校卒業式が3月9日、同校講堂で行われ、36人が学び舎を巣立ちました。式で原宏介校長は「健康管理に注意し、コミュニケーション豊かな思いやりのある看護師になってもらいたい」とはなむけの言葉を送りました。
 縄巻由美子さん(勝間田)が卒業生代表として、「看護師は患者の一番近くにいるからこそ、どれだけ患者を思い行動できるかが、看護につながることを学んだ」と答辞を述べました。
 榛原総合病院には同校から4人が就職しました。



卒業生代表で答辞を述べる縄巻さん

私立高校の頂点を目指して

■第58回全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会

第58回全国私立高等学校女子ソフトボール選抜大会が3月26日から30日まで、榛原総合運動公園ぐりんぱと静波グラウンドで開催されました。
 本市で3回目の開催となる大会には全国から選抜された44校が参加し、県内からは加藤学園高等学校(沼津市)、城南静岡高等学校(静岡市駿河区)藤枝順心高等学校(藤枝市)が出場。本市から加藤学園の原崎未紗都選手(波津)、藤枝順心高校の宮崎乃ぞ美選手が出場しました。
 福岡大学附属若葉高等学校が優勝しました。



打席に立つ加藤学園高校の原崎選手



開署式で館名塔を除幕する増田消防長(右)、西原市長(中)ら

地域の安全安心を守る砦が始動

■相良消防庁舎落成式・寄贈式、消防本部消防署開署式

相良消防庁舎落成式・寄贈式が3月24日、相良消防署で開かれ、関係者約150人が出席しました。式では、全国共済農業協同組合連合会静岡県本部・ハイナン農業協同組合から高規格救急車が、スズキ株式会社から査察車が贈呈され、市長から感謝状と記念品が渡されました。式典後、庁舎玄関前でテープカットが行われ、落成を祝いました。
 4月1日の開署式では、増田基志消防長が「市の防災の一端を担うよう職員一丸となり頑張りたい」と話し、安全安心を守る砦が始動しました。



手もみを体験する子どもたち

おいしいお茶ができますように
■牧之原新茶まつり・新茶祈願祭

牧之原新茶まつり・新茶祈願祭が3月17日、ハイナン農業協同組合茶業センター茶ぐりん牧之原で開かれました。
 良質な茶の生産や緑茶ファンの拡大などを目的として、茶生産者でつくる「ティーファーム牧之原」やハイナン農業協同組合、市茶業振興協議会が毎年企画。会場内の新茶の手もみ体験や茶の天ぷらの試食、お茶の詰め放題のコーナーなどは多くの家族連れでにぎわいました。新茶まつりに先立ち行われた新茶祈願祭には、茶業関係者約50人が出席。静岡牧之原茶で乾杯した後、関係者全員で「エイ、エイ、オー！」と氣勢を上げ、良質な茶の生産と活発な取り引きなどを願いました。

足元照らし急いで高台へ

■夜間津波避難訓練

津波に対する意識を高め、いつでも迅速に避難することができるように、市では3月7日に夜間津波避難訓練を実施しました。
 沿岸部の避難対象区域の住民約8,000人が参加。訓練は、震度6弱から7の強い地震が発生し、津波が数回にわたり市沿岸部を襲うという想定で行われ、午後7時5分にサイレンと同報無線が市内に流れると、市民は懐中電灯を手に、続々と避難を開始。各地区の自主防災組織が夜間における避難場所や避難経路の危険箇所などを確認しました。



小堤山公園に避難する波津区の住民



色とりどりのガーベラを眺める勝間田小の児童

ガーベラは市の特産品なんだね

■ガーベラ摘み取り体験/勝間田小、片浜小

勝間田小1年生25人と片浜小2、3年生9人は3月5日、市内和田のガーベラ農家鈴木秀明さんのハウスでガーベラの摘み取り体験を行いました。県内2位の生産量を誇る市の特産品であるガーベラについて子どものころから学び、親しんでもらおうとJAハイナンガーベラ部会が企画。
 児童らは、ガーベラの産地や生産方法などを学習。その後、ハウス内で育てられた色とりどりのガーベラを丁寧に摘み取りラッピングをして、きれいな花束を作りました。



広報担当がどこにも取材に行きます。
 あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp